

ビオトープ事例一覧：民間

< I-a: 北総内陸区域 >

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオトープのタイ プ	活動エリア	周辺 環境	
活動目的及び内容											
1	I-a, II-b	樹林 地	野田の里山を 考える会	小瀧 康男	1993年	野田市山崎2361-1LG 野田梅卿S407 小瀧方	13名	保持 型	野田市周辺	農村	
				野田の原風景といえる里山の価値を見直し、このような環境をまちづくりの中に積極的にとりいれることを目的にしている。活動内容は、雑木林の下草刈り、休耕田の水路掘り、ホタル観察会、チョウやガの調査などである。							
2	I-a, II-a, II-b	樹林 地	丸山の森を守る会	佐竹 敬一	1996年	船橋市丸山2-18-16	25名	保持 型	船橋市丸山地区	市街 地	
				市街化区域に残っている樹林を保全していくことで、地域の住環境を守り、幅広くecologyを学ぶことを目的とする。							
3	I-a	樹林 地	こんぶくろ池を 考える会	大貫 遼子	1995年	千葉県柏市つくしが丘 4-9-9	54名	一	柏市北中央部	農村	
				こんぶくろ池(小袋池)は柏市北部にある自然度の高い森に囲まれた湧水地で、本会はこの自然豊かな森、湧水を次代に残そうと発足した。月1回(第3日曜日)清掃及び観察会を実施している。							
4	I-a	樹林 地	(株)三菱地所	—	—	佐倉市環境保全課・ 佐倉市海隣寺町97	—	保持・ 復元 型	ちばリサーチパーク内	樹林 地	
				'ちばリサーチパーク'複合都市作りを佐倉市及び千葉市の両市にまたがる総面積約190.4haに整備する計画があつたが、事業対象地がゲンジボタルの生息地となっていたことから、これらの生物及び植物の保全を図るために、計画の見直しを行った。							
5	I-a	農耕 地	ちば・谷津田 フォーラム	中村 俊彦	1999年	千葉市中央区中央1-6-9 ちば環境情報センター内	270名	保持 型	千葉県内の谷津田 周辺	農村	
				千葉県内全域の谷津田の保全に関して、農家・市民・行政・研究者等の間の情報交換と、保全に対して緊急かつ具体的行動を展開することを目的としている。							
6	I-a	農耕 地	ちば環境情報センタ (下大和田谷津田 プレーランド プロジェクト)	高山 邦明	2001年	千葉市中央区中央1-6-9 ちば環境情報センター内	約40名	保持 型	千葉市緑区下大和田	農村	
				下大和田地区では農家の扱い手などの問題から休耕田化が進んでいた。そこで農家に替わって田植えを行おうと、所有者より大小6枚の水田を借り、米作りだけではなく田んぼでの遊びを通じて田んぼの自然の良さに気づいてもらおうと様々な活動を行っている。							
7	I-a	農耕 地	さくら・人と自然を つなぐ仲間 (田んぼ池の会)	神 伴之	1998年	佐倉市上志津1776-49	20名	保持 型	佐倉市畔田地区	農村	
				佐倉市において人と自然との共存を進め、自然をかけがえのない共有財産として次世代に残していく。提言活動や保全にふさわしい場所での地権者の理解を得たエコアップ活動、保全のために必要な調査活動を行う。							
8	I-a	農耕 地・樹 林地	下田の森の自然を 守る会	齋藤 吉弘	1975年	柏市酒井根6-5-1	18名	保持 型	柏市酒井根6丁目、 東山1丁目地区	市街 地	
				自然観察会、雑木林・草地の維持管理、田んぼ・畠の管理・農作業、環境整備、施設整備、調査活動、ビオトープづくり、特定の動植物や植物群落の保護、野外活動などを行っている。特に、さかいね下田の森自然公園友の会の活動を全面的に支援している。							
9	I-a, II-b	農耕 地	八千代ホタルフォ ラム	加藤 賢三	1991年	八千代市大和田新田931- 3	40名	保持 型	主として八千代市	農村	
				養殖したものではない八千代の自生のホタルを21世紀に残したいと願い設立された。谷津を中心とした自然観察や学習会、講演会、夏にはホタルを見る会を実施している。また、八千代市の環境シンポジウムや環境フェア、ふれあいまつり、公民館祭へも参加している。							

## ビオトープ事例一覧：民間

### 〈I-a: 北総内陸区域〉

## ビオトープ事例一覧：民間

### 〈I-a: 北総内陸区域〉

### 〈I-b: 銚子区域〉

## ＜II-a: 沖縄臨海区域＞

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ピオトープのタイプ	活動エリア		周辺 環境
									活動目的及び内容		
19	I-a	湖沼	美しい手賀沼を愛する市民の連合会	星野 保	1995年	千葉県我孫子市中峰1304	24団体	復元型	手賀沼流域	市街地	
									沼と共に生きる周辺地域の自然・生活のより良きあり方を学習し美しい手賀沼によりみがえらせることを目的とする。活動内容は、学習会の開催、情報の収集・交換および提供、手賀沼浄化、環境保全・整備についての提言、市民および関係機関との連携強化などである。		
20	I-a	公園	囙子水の自然を育てる会	佐藤 晶子	1996年	佐藤清美、晶子 鎌ヶ谷市中央1-2-8	約30名	保持型	鎌ヶ谷市	市街地	
									囙子水公園内における湧水や森林の保全を目的としている。		
21	I-a	公園	鷹匠ビオトープの会(湧水ボランティア・さくら人と自然をつなぐ仲間)	西尾 伸也	2000年	佐倉市白銀1-23-5	25名	保持型	佐倉市城址公園内	市街地	
									サワガニを育む鷹匠清水の自然を守り、子供達に伝えていくため、鷹匠の生物調査を行い、生き物の様子をみながらビオトープづくりを進める。活動内容は、生物調査、池や川の整備、草刈り、雑木林づくりなどである。		
22	I-b	海岸	銚子自然保護協会	丹野 正伸	1986年	銚子市犬吠埼9565-4 丹野方	約6名	保持型	君ヶ浜など、銚子周辺	市街地	
									昭和61年に、犬吠埼の北側にある君が浜という砂浜における、公園計画が銚子市によってスタートした。これを機に、犬吠周辺の国定公園特別地域を保全しつつ自然教育の場として整備し、併せて新しい発想の観光拠点とすることを行政に提案していくこと、同会が結成された。		
23	I-b	海岸	銚子・自然を楽しむ会	鶴岡 繁	1972年	銚子市松本町1-7-6	20名	保持型	銚子付近の海岸	市街地	
									「自然をこれからもずっと楽しむためには、保護をしていかなくてはいけない」と、教員や有志が集まり、昭和47年、「銚子・自然を楽しむ会」が結成された。・海岸植物の保護、食虫植物の保護、海岸の草刈りなどを行っている。・		
24	I-b	海岸	銚子市民運動ネットワーク	戸石 四郎	1990年 (70年設立、名称変更)	銚子市君ヶ浜8705-3	20名	復元型	銚子市東部海岸地域	樹林地	
									国定公園地域である犬吠埼・君ヶ浜一帯の保全、再生、自然教育公園化を目指し、地域の環境保全活動の一環として活動している。		
25	II-a, II-b, IV-a, IV-b	樹林地	里山クラブ市原	久保寺 昭雄	1989年	田村勉 市原市馬立1063	120名	保持型	市原市・大多喜町	農村	
									自然憲章を中心し、不偏不党にしてイデオロギーなどに関係せず、自然を愛する市民とボランティア精神をもって事業を進め、大切な自然と水を子孫に伝えることを目的とする。活動内容は、里山の整備・保全、自然観察会の実施などである。		
26	II-a, II-b, IV-a, IV-b	農耕地	ホタル会	加藤 栄男	2000年	市原市草刈981 加藤方	67名	復元型	市原市草刈	農村	
									地域の自然に係わる多様な活動をしてゆく会として、自然の象徴であるホタルの名を借り、地域有志で活動を行っている。活動内容は、「ほたるの里」を建設、購入した幼虫を放流、現在は隣の休耕田に「とんぼ池」の建設準備中である。		
27	II-a	農耕地	市原トンボ池の会	岡 嘉弘	1996年	千葉県市原市惣社5-1-7	25名	保持型	市原市中部	農村	
									開発や残土・廃棄物で失われていく里山自然を守り、育もうという主旨で、設立された。・市原市宿にある休耕田(谷津田)を活用したトンボ池の整備、(広さ約3000m <sup>2</sup> )月1回(第4月曜日)定例会を開催し、トンボ池および周辺の環境整備、観察会などを行っている。		

ビオトープ事例一覧：民間

< II-a: 京葉臨海区域 >

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオト ープのタイ プ	活動エリア	周辺 環境	
活動目的及び内容											
28	II-a, II-b	河川	下泉・森のサミット	鈴木 優子	—	千葉市稻毛区園生町449-1-107	—	保持 型	鹿島川流域	樹林 地	
				私達の飲み水となる鹿島川の流域に水源涵養林づくりを目指すことを目的とする。活動内容は、森づくりの作業、活動資金づくりのための物品販売、雑木林講座、ドングリの里親募集などである。							
29	II-a	河川	都川の環境を考える会	中居 賢一	1994年	千葉市中央区矢作町328-1 清水方	30名弱	—	千葉市中央区、若葉区	市街 地	
				千葉市の中心を流れる都川及びその周辺地域の環境問題への取り組みを主に活動している。・月1回のゴミ拾い、視察会、要望、提案(公園計画等へ)。・啓蒙活動(行政と連携)							
30	II-a	干潟	盤洲干潟を守る会	藤平 眞郎	1989年	君津市久留里市場23	約20名	保持 型	盤洲干潟	市街 地	
				小櫃川河口域(盤洲干潟)をこのままの姿で保全することを目的とする。活動内容は小櫃川河口域清掃を年2回、観察会を年7回行っている。							
31	II-a	干潟	三番瀬を守る会	田久保晴孝	1993年	船橋市海神4-28-11 鈴木方	250名	保持 型	船橋市、市川市	市街 地	
				三番瀬を埋め立てから守ることを目的とする。活動内容は、毎月第一日曜日に「千葉県野鳥の会」などと一緒に三番瀬自然観察会を実施している。年6回会報「三番瀬だより」を発行している。							
32	II-a	干潟	特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター	安達 宏之	2001年	市川市末広2-7-1-102 安達方	20名	復元 型	市川市、船橋市の海岸周辺	市街 地	
				当センターは、市川市及び船橋市、浦安市地先に広がる浅海域である東京湾三番瀬の環境を保全し、住民が良好な自然の海辺を享受できるようなまちづくりを行うことを目的とする。三番瀬に関する政策提言、調査研究、普及啓発、交流、保全事業等を行っている。・							
33	II-a	その他(埋立地)	幕張ペイタウンにエコパークを作る会	小川かほる	1999年	千葉市美浜区打瀬2-17パティオス18-208	50名	復元 型	千葉市美浜区打瀬	市街 地	
				当会が活動対象地とする「エコパーク」は、千葉市美浜区の幕張ペイタウンにある「うたせふれあい緑地」内にあり、自然にふれ、自由に遊ぶ場としての「エコパーク」を作ることを目的としている。							
34	II-a	その他(埋立地)	行徳野鳥観察舎友の会	東 良一	1979年	市川市塩浜4-2-21-1401 大閑様方	240名	復元 型	市川市 行徳鳥獣保護区	市街 地	
				行徳野鳥観察舎の利用者間の親睦と保護区を守り育てることを目的に結成された。・ 主な活動内容は、行徳野鳥観察舎利用者の相互親睦を深め、利用の便を図り、行徳鳥獣保護区の自然環境の保全、改良に協力する。自然観察会、会報「すずがも通信」の発行など。							
35	II-a	その他(工場)	株クボタ船橋工場	中谷 政昭 (環境安全課長)	1960年 (昭和35年)	船橋市栄町2-16-1	648名	復元 型	船橋工場内	工業 地域	
				1998年7月に国内の鉄管メーカーとしては初のISO14001の認証を取得し、従業員の環境への意識が高まった。この意識を維持し、目に見える形で残したいという思いから、1999年の春にISO4001活動のシンボルとして工場の緑地内に120m <sup>2</sup> (8m×15m)の長方形型のトンボ池を作り、その池一帯を「クボタ船橋の森」と名付けた。・							
36	II-a	その他(工場)	東京電力千葉火力発電所	横山 敏明 (土木建築設備課長)	2003年3月完成 予定	千葉市中央区蘇我町2-1377 東京電力(株)千葉火力発電所 千葉工事事務所	—	復元 型	発電所敷地内	工業 地域	
				発電所敷地東側の約18万m <sup>2</sup> の緑地を「地域の共生エリア」として整備し、その中心部分の2.7haにコアジサシのための営巣地を設けた。また、この「地域共生エリア」は現在工事中であり、平成15年4月以降、一般開放する予定である。							

## ビオトープ事例一覧：民間

< II-a: 京葉臨海区域>  
< II-b: 京葉内陸区域>

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオト ープのタイ プ	活動エリア	周辺 環境	活動目的及び内容	
37	II-a	その他(工 場)	サッポロビール(株) 千葉工場	林(総務部)	1999年	千葉県船橋市高瀬町2番	—	復元 型	当工場敷地内	工業 地域	千葉工場ビオトープ園は、環境保全の取り組みの一環として、更地と駐車場になっていた部分を造成し、池・樹木・緑地を設置して、昆虫・野鳥・魚等いろいろな動植物が自然共生できるような自然環境を整えた。自然環境体験学習ができるよう一般に開放している。	
38	II-b	樹林 地	関さんの森を育む 会	関 美智子	1996年	松戸市幸谷131	50名	保持 型	松戸市北部地域	市街 地	地域に残された森(関家から財団法人埼玉県生態系保護協会に寄付された屋敷林1.1ha)を豊かな森に育み次世代へ残すための活動を行っている。月2回(第二木曜、第三日曜)森の作業及び観察会、タケノコ掘り、そめん流など森の楽しみ方を分かち合っている。	
39	II-b	樹林 地	丸山サンクチュアリ	三神 鶴吉	1985年	船橋市丸山2-17-7	170名	保持 型	船橋市法典地区	市街 地	自然を愛する人づくりを目的とする。活動内容は、自然観察会を毎月1~2回、森のボランティアで毎月4回ビオトープづくり、野鳥の森、カブトムシ牧場、昆虫と野鳥のための野草園と花木園づくり、毎月会報を発行などである。	
40	II-b	農耕 地	プロジェクトとけ「谷 津田創り隊」	高山 斎一郎	1999年	千葉市緑区越智町 705-292	60名	保持 型	大藪北谷津など、 土気周辺	農村	「プロジェクトとけ」は取り組む課題ごとに「プロジェクト」をつくり活動している。現在、取り組んでいるプロジェクトは5つである。谷津田に関する活動は「村田川プロジェクト」、「谷津田創造プロジェクト」で行われている。	
41	II-b	農耕 地	緑のみずがき隊	高橋 翔	1998年	千葉県市川市市川4-2-3	14名	復元 型	市川市	市街 地	ホタル、トンボなどの生息する水辺と、水辺をとりまく自然生態系を復活させ、もって身近な自然に対する隊員自身とその他の人々の意識を高揚することを目的とする。	
42	II-b	農耕 地	実穂郷(さと)の会・ 実穂の自然を守る 会の名称変更(1998 年)	小川嘉一郎	1994年	時田 尚敏 習志野市実穂2-16-53	180名	復元 型	習志野市実穂地区	市街 地	習志野に残された唯一の谷津田であり、周囲の傾斜林と共に次代の子供達に30年~40年前まではこの様な形態の中で生活を営んでいたという歴史を伝えていくことを目的としている。	
43	II-b	河川	小櫃川源流域の 自然を守り育む 連絡会(七里川渓谷 を守る会)	佐野今朝雄	1997年	御簾納 照雄 君津市向郷681	50名	保持 型	小櫃川流域	樹林 地	千葉の4つの団体が発起人となり、小櫃川源流域七里川渓谷の追原周辺のダム建設などに反対して自然を守ること、また小櫃川源流域とその周辺に生活し、これまでその自然を保全してきた地域の人達の心と生活を尊重することを基本方針として発足した。	
44	II-b	公園	じゅんさい池に ジュンサイを残そう 市民の会	松田 仁絵	1982	市川市中国分4-7-15	—	復元 型	市川市中国分 じゅんさい池緑地	市街 地	都市公園「ジュンサイ池緑地」のジュンサイ池にオニバスを移植している。	
45	II-b	その 他(調 整池)	市川緑の市民 フォーラム	佐野 郷美 (事務局長)	1989年	市川市曾谷7-24-3	230名	保持・ 復元 型	市川市	市街 地	市川市における自然環境保護団体間のネットワークづくりを主な目的として、設立された。・団体間のネットワークを基に、市川市を再び緑豊かで住みやすく、文化の香り高く落ち着いた雰囲気の街とするために、市川市や千葉県に働きかけを行うことを更なる目的としている。	

ビオトープ事例一覧：民間

<II-b:京葉内陸区域>  
<III-a:九十九里臨海区域>  
<III-b:九十九里内陸区域>

通し No.	県類 型No.	立地 タイプ	団体名	代表者名	設立年	連絡先	会員数	ビオトー プのタイ プ	活動エリア	周辺 環境
				活動目的及び内容						
46	II-b	その 他(施 設内)	東京電力 新木更津変電所	一	2001年	木更津工務所 木更津市下郡羽黒	一	復元 型	木更津市下郡羽黒	市街 地
				自然との共生をめざす目的で変電所内に約2万平方メートルのビオトープを整備した。残土置き場に植樹を行い、林地の復元を図ったのをはじめ、調整池などをを利用して野生の植物、小動物が生息できる空間を確保した。						
47	III-a, III-b	樹林 地	史跡飯高塙林を守 る会	佐藤 剛雄	1977年	八日市場市飯高1789 飯高寺内	約400名	一	八日市場市飯高塙林	農村
				千葉県指定史跡飯高塙林跡を保護することを目的としている。活動内容は、飯高寺境内山林の草刈りや清掃及びぼたん園の管理や杉苗の植樹などの環境美化活動、またゴミゼロ運動や近隣の消防団との防火訓練などである。						
48	III-a	農耕 地	白子町自然環境を 守る会	兼平 隆	1993年	白子町中里2858-6	23名	復元 型	白子町	農村
				ヘイケボタル、ゲンジボタルの飼育を行っている。自然環境が農薬等により破壊されつつあり昔ながらの自然を取り戻すことを目的とする。活動内容は、ゲンジボタル及びヘイケボタルの飼育(会員23名による卵から飼育活動、1年間)などである。						
49	III-a	海岸	九十九里浜の自然 を守る会	長島 幸孝	1999年	白子町閑5074-2 白子町役場企画課	60名	保持 型	白子町海岸	農村
				平成10年、千葉県の条例で県立九十九里自然公園の砂浜への二輪車を含む自動車の乗り入れが規制された。乗り入れ規制の条例の普及を行うとともに九十九里海岸の稀少動植物を保護するために、平成11年白子町の企画課の呼びかけで「九十九里浜の自然を守る会」が結成された。						
50	III-a, III-b	その 他(湿 地)	成東・東金食虫植物 群落を守る会	長谷川節子	1993	成東町殿台296 成東町役場社会教育課	一	保持 型	成東町	農村
				成東町・東金食虫植物群落の保全を目的とする。雑草取りや種まき等を主体とする保護運動を行っている。						
51	III-a, IV-b		双葉電子工業(株)	—	1997年 (事業実 施)	千葉市中央区市場町1-1 千葉県自然保護課	—	保持 型	長生村金田字金谷沼 地先	
				工場敷地内の湿地帯の乾燥化が進み食虫植物などの生育が危ぶまれたことから、県及び長生村より湿地の復元事業について要請があり、地権者である双葉電子工業(株)が事業主体となって、外来種を除去し、水分供給源を確保して湿地の復元を図った。						
52	III-b	樹林 地	山武に雜木林を 作る会	清水	1999年	非公開	20名	復元 型	山武町会長所有の山 林	樹林 地
				かつて山武地域に広がっていた雜木林を地元の種を使って再生していくために、会長所有の0.5haの杉林を伐採し、クヌギ、コナラなどの広葉樹を中心とした樹木の種まき、苗の移植を行っている。						
53	III-b	農耕 地	千葉県の野生生物 を考える会	小賀野大一	1995年	千葉市若葉区若松町 千葉南高校	10名	保持 型	県北東部	市街 地
				千葉県北東部の谷津田において、環境の基礎調査と、トウキヨウサンショウウオの保護・増殖を通した谷津田の生物多様性の維持を目的として設立された。						
54	III-b	農耕 地	桜宮自然公園を つくる会	佐野 豊三	2001年	所 英亮 多古町染井375	50名	保持 型	多古町染井天井田	農村
				荒廃した谷津田を里山公園として保存しようと地権者らが草刈りなどの活動を始めた。将来的にはホタルなどが生息するかつての谷津田環境の復元を目指し、環境を保全した上でトイレ、ベンチ程度の整備を行う予定である。						

## ビオトープ事例一覧：民間

<IV-a: 内房区域>  
<IV-b: 外房区域>